

# V 教育訓練



## (教育訓練)

### 1 概 要

近年、災害の態様は、気候変動や社会経済の進展等に伴い複雑多様化・大規模化の傾向にあり、消防機関の業務は、このような状況に適切に対応するため、警防、予防、救急、救助等あらゆる活動分野でその量・範囲が増加・拡大する中、専門的かつ高度な知識や技術が求められている。

また、平成23年3月11日、地震、津波により甚大な被害が発生した東日本大震災の教訓等から、人々の消防に対する期待は非常に大きなものとなってきている。

こうした状況及び要請を踏まえ、群馬県消防学校では、消防職・団員に対し、その使命・責務を正しく認識させることはもとより、業務遂行上必要となる知識及び技術の修得を図るため、国の教育指標である「消防学校の教育訓練の基準」に基づき、多様な教育訓練を実施している。

また、女性防火クラブや自衛消防隊など自主防災組織の入校も積極的に受け入れ、防災関係の講義をはじめ、消火設備・器材の取扱い、災害模擬体験等を通じ、防火防災思想の普及を図っている。

なお、消防の幹部・指導者の養成を目的として必要な知識、技術、管理能力等の修得を図るための教育訓練を実施している総務省消防庁の消防大学校には、毎年度県下から十数名が入校している。

### 2 消防学校の教育訓練

#### (1)平成25年度教育訓練概要

県内の消防職団員に対し、「精神教育」「学科教育」「実科教育」を合わせて実施した。

消防行政を取り巻く環境の変化や住民の要望に消防機関が的確に対応できるよう、教育訓練の充実強化を図るとともに、住民から信頼されるよう知識・技術を効率的・効果的に修得させることを主眼として、消防職団員の育成に努めた。

併せて、広く開かれた学校として、女性防火クラブや自衛消防隊等の自主防災組織等に対する教育についても積極的に実施し、防災思想の普及徹底を図るよう教育訓練を実施した。

#### ア 消防職員の教育訓練

新規採用職員を対象とした初任教育、現任の職員に専門的知識・技術を教授する専科教育、幹部職員に対する幹部教育等について、前年の実績を踏まえ一層の教育内容の充実を図った。

#### イ 消防団員の教育訓練

新入団員から幹部団員まで、それぞれに応じた教育訓練を実施した。

#### (2)機 構

職 名	校 長	副 校 長	教 務 係 長	主 幹	副 主 幹	計	その他職員		合 計
							嘱 託 職	臨 時 職	
人 員	1	1	1	2	5 (消防 (局)本 部から の派遣 4)	10	5 (内舎監2 専任講師1 医師1 その他1)	1	16

(3) 施設 (寮室収容人員100名)

施設	区分	構造	延床面積 (m <sup>2</sup> )	摘要
敷地			22,938	
施設	本館	RC (3階)	1,241	1階 事務室、機材室、教官室、休養室、トイレ(男女)
				2階 第2教室、理化学教室、図書室、準備室、トイレ
				3階 第1教室、視聴覚教室、トイレ
	寄宿棟 (北寮)	RC (3階)	1,486	1階 寮直室、舎監室、談話室、食堂、浴室、 救急実技室、洗面所、トイレ
				2階 寮室6室(4人×6室)、洗面所、トイレ
				3階 寮室6室(4人×6室)、洗面所、トイレ
	寄宿棟 (南寮)	RC (3階)	1,544	1階 大教室、特別会議室、浴室(男女)、トイレ(男女) 洗面所、倉庫、機械室、寮室1室(4人×1室)
				2階 寮室4室(4人×4室)、救急実技室、談話室、 洗面所、トイレ、倉庫
				3階 寮室8室(4人×8室)、茶室、洗面所、トイレ、 倉庫
	屋内訓練場	RC (1階)	868	管理室、脱衣室、機械器具室、講師室、ステージ、トイレ
	燃焼実験室	RC (一部2階)	280	スプリンクラー設備、水噴霧消火設備、粉末消火設備、 二酸化炭素消火設備、泡消火設備、補助訓練塔併設
	訓練塔	RC (8階地下1階)	457	煙道付 (17m・地下1階)
	補助訓練塔	S (2階)	122	ホース乾燥設備併設
	煙道	床板張	29	
水難救助 訓練用施設	RC	400	25m×7コース、洗眼装置、滅菌装置一式、トイレ	
車庫	S (1階)	403	機械実習室、高圧空気充填室、エアコンプレッサー設備	
機械室	RC (1階)	72	給排水用設備一式、冷暖房設備一式	
屋外訓練場	芝張等	8,000	放水標的、照明設備、洗車場、自家発電設備	
駐輪場	S (1階)	29	14.7m×2m 30台分	
その他		197	LPG倉庫、合併処理槽、ポンプ室、キュービクル2 基、渡り廊下等、浄化槽、井戸、屋外便所	

## (4)平成25年度教育訓練実施状況(1)

平成26年3月31日現在

教育区分		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延日数 実日数(日)	教育時間 (時間)	摘要 期・人数		
職員 教育	初任教育	初任科	—		—		—		—		—		—		159	803	66期		
			8(9日入校式)						13								110	89人	
	専科教育	警防科												—		12	70	41期	
														24	7	10		25人	
		予防査察科													—		12	70	35期
															24	7	10		22人
		危険物科										—					9	49	35期
												10~18					7		23人
		火災調査科												—			12	70	35期
													20~31			10	26人		
	救急科									—						56	266	19期	
									2	26						38		72人	
	救助科									— ※1				— ※2		13	77	41期	
								2~11					12~14		11	25人			
幹部教育	初級幹部科										—				9	49	25期		
											10~18			7	22人				
特別教育	無線通信課程			—											2	14	43期		
			30	31										2	19人				
	ビデオ硬性挿 管用喉頭鏡講 習												—		1	7	1期		
												5		1	19人				
ポンプ操法指 導員課程														—	21	19期			
													11~13	3		67人			
合計															288	1,496	409人		
														209					

※1 救助科は、訓練事故が発生したため10月15日から中断し、平成26年2月12日から再開した。

※2 平成26年2月12日から21日までの予定で再開したが、大雪の影響により14日で終了した。

平成25年度教育訓練実施状況(2)

上段:日数・(時間)

下段:人数

平成26年3月31日現在

教育区分		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	備考	
団 員 教 育	基礎教育 普通科		4 (24) 100												4 (24) 100	2日×2回	
	専科教育 機関科			4 (24) 82	2 (12) 75										6 (36) 157	2日×3回	
	幹部教育 中級幹部科				4 (24) 131										4 (24) 131	2日×2回	
	特別 教育	ラッパ科							1 (6) 48							1 (6) 48	1日×1回
		指導員研修							2 (10) 30							2 (10) 30	2日×1回
		一日入校			1 (5) 32											1 (5) 32	1団(隊)
		現地教育						1 (2) 20	1 (2) 20	2 (4) 40						4 (8) 80	4回
計		4 (24) 100	5 (29) 114	6 (36) 206		1 (2) 20	4 (18) 98	2 (4) 40						22 (113) 578			
関 係 団 体	女性防火クラブ 婦人消防隊			2 (4) 48	1 (2) 44	1 (2) 23		1 (2) 22		2 (4) 41					7 (14) 178	7団体	
	防火管理者									1 (5) 26					1 (5) 26	1団体	
	その他の団体						2 (4) 69			2 (9) 102					4 (13) 171	4団体	
	計			2 (4) 48	1 (2) 44	1 (2) 23	2 (4) 69	1 (2) 22		5 (18) 169					12 (32) 375		
合計			4 (24) 100	7 (33) 162	7 (38) 250	1 (2) 23	3 (6) 89	5 (20) 120	2 (4) 40	5 (18) 169					34 (145) 953		



## (5)平成25年度消防本部別入校者数(職員教育)

平成26年3月31日現在

消防本部(局)	課程	専 科 教 育						幹部教育	特別教育			計	
	科	初任教育							初 級 幹部科	無線通信 課 程	ビデオ硬性 挿管用喉 頭鏡講習		ポンプ操法 指導員課程
	期	初任科	警防科	予 防 査察科	危険物科	火 災 調査科	救急科	救助科	初 級 幹部科	無線通信 課 程	ビデオ硬性 挿管用喉 頭鏡講習		ポンプ操法 指導員課程
		66期	41期	35期	35期	35期	19期	41期	25期	43期	1期	19期	
前橋市		5	5	4	5	6	8	6	5	4	2	16	66
高崎市等広域		21 (1)	2	2	2	2	15	2	2	3	2	4	57 (1)
桐生市		8 (1)	2	2	2	2	4	2	2	—	2	6	32 (1)
伊勢崎市		12	3	2	2	2	10 (1)	2	2	3	2	5	45 (1)
太田市		4	5	4	4	5 (1)	—	4	4	1	2	6	39 (1)
利根沼田広域		6	1	1	1	2	4	2	1	—	2	4	24
館林地区		7	2	2	2	2	4	2	2	2	2	5	32
渋川広域		11	1	1	1	1	13 (1)	1	1	1	1	6	38 (1)
多野藤岡広域		4	2	2	2	2	4	1	1	2	2	5	27
富岡甘楽広域		6	1	1	1	1	5	1	1	—	1	5	23
吾妻広域		5	1	1	1	1	5	2	1	1	1	5	24
計		89 (2)	25	22	23	26 (1)	72 (2)	25	22	17	19	67	407 (5)
										※ 19			※ 406 (4)

※ 消防職員以外の入校者(伊勢崎市消防団1名、消防保安課1名)を含む。

注 ( )内は女性数(内数)